

# 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

## ②施設・事業所情報

名称：	たかた保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 加藤 京子	定員（利用人数）：	75（70）名
所在地：	223-0066 神奈川県横浜市港北区高田西4-35-18		
TEL：	045-592-3251	ホームページ：	<a href="https://takata-hoikuen.jp/">https://takata-hoikuen.jp/</a>
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	1977年9月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 平成会		
職員数	常勤職員： 14名	非常勤職員：	12名
専門職員	保育士 18名	栄養士	3名
	看護師 1名	調理員	0名
	用務員 3名	事務	1名
施設・設備の概要	居室数： 保育室5室、一時保育室 厨房1室、事務室1室	設備等：	園庭、屋上園庭 エレベーター、多目的トイレ

## ③理念・基本方針

<p><b>保育理念</b> 『地域に根差した子どもたちの施設です』 保育にあたっては、子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の幸福のために保護者の方や地域社会と力を合わせ、児童の福祉を積極的に増進し、また地域の子育て支援の役割に努力します。 児童の福祉を積極的にすすめるにあたり、職員は豊かな愛情をもって接し、子どもにとってのよりよい保育、環境作りのために常に知識の習得及び技術の向上に努めます。</p> <p>『目標』 思いっきり遊べる子 表現できる子 思いやりのある子</p> <p>『保育姿勢』 ○子どもたちとより良い関係を築き、一緒に遊びながら仲立ちとなり友だち同士の関係が深まるように援助しています。 ○各年齢の発達をふまえながら学年活動と、異年齢児との関りの中で得られる友だち関係を大切にするように配慮しています。 ○一人ひとりの個性や可能性を見出し、ありのままを受け止める姿勢を大切にしています。 ○子どもたちの声に耳を傾け、感じた事や発見・驚き・感動に共感するような対応を心がけています。 ○地域の子育ての基地となり、地域のいろいろな人との関りをもつように努めています。</p>
--

④施設・事業所の特徴的な取組

保育理念に「地域に根差した子どもたちの施設です」を掲げ、1977年の開園以来、地域に見守られ、地域のさまざまな人とのかかわりを大切にしながらこの地に根差してきた保育施設です。子どもたちは、日々の戸外活動をはじめ地域の行事参加の際にも近隣住民に見守られ、温かい環境の中でのびのびと育っています。

園舎は2年前に建て替えを行いました。子どもの目線を考慮して設備が整えられ、採光も良く清潔感あふれる環境となっており、子どもたちは個々に満足のいくまで好きな遊びをしています。食への興味ももてるように、調理室もものぞけるようになっています。子どもたちは給食の調理の様子を見たり、栄養士と触れ合ったりしながら、「苦手なものも食べてみよう」「この食材はこんな形をしているんだ」など食への興味を引き出しています。お楽しみ会などの集団活動を行う際には、可動式の壁を動かしてホールと舞台に変えられる工夫もあります。

職員は、子ども一人ひとりの個性や可能性が伸びるよう個々に合った保育を心がけ、ありのままを受け止め、子どもたちがやってみたいと感じ、発見、驚き、感動が生まれるような保育を目指しています。各クラスでは子どもたちの手の届くところにおもちゃを配置して、主体的な活動を支援しています。職員手作りのおもちゃも多く、子どもたちが遊びをより豊かに発展させていけるように配慮しています。

戸外活動では、日常的に散歩に出かけて季節を肌で感じ、広々とした園庭では元気よく走り回り、職員とボール遊びをして全身を動かしています。これらの活動は健康で丈夫な体づくりにつながっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年8月2日 (契約日) ~ 2023年3月9日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1 回 ( 2016 年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆地域に根差した開かれた園として、子育て支援を継続して行っています

コロナ禍で活動制限の多い中、感染症対策に配慮しながら保護者や地域の子育て家庭への支援を継続して行っています。日々の登降園の際には、保護者は各クラスまで入ることができ、園の中の様子も見られ安心感につながっています。地域子育て支援活動では、年間計画表を作成して園庭開放、育児相談、交流保育、育児講座を行っています。園庭開放に訪れた親子には絵本の貸し出しも行っています。交流保育の一環で4歳児は「うんどうかいごっこ」、3歳児は「色水あそび」などを楽しんでいます。園長は、参加者の声から子どもの食事に関する悩みが多いことを把握しており、コロナ禍収束後に給食の試食会を企画するなど、さらなる支援の充実を目指しています。

◆職員のアイデアが詰まったおもちゃで心を育て、遊びを豊かにしています

職員は、子どもにとってより良い保育と環境のために研鑽を重ねており、その一つとして手作りおもちゃに力を入れています。0～5歳児の各保育室は遊びの空間が保障され、子どもたちはブロック遊びやお絵描き、ままごとなどのコーナーを選び集中して遊んでいます。おもちゃは既製品だけでなく職員の手作りおもちゃも豊富にあります。例えば人形用の布団、薬箱、ケーキなどの布製おもちゃです。これらを遊びに加えることで、人形に布団をかける、けがの手当てをする、ケーキでお祝いするなど他者を慈しむ心が育っていきます。そのほか乳児用に全身運動を促す牛乳パックで作ったサーキットもあります。職員のアイデアで遊びの幅が広がっています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審したことで自己評価での取り組みや保護者のアンケート結果の共有などは、職員全体で振り返り、話し合う良い機会になりました。訪問調査では職員が力を入れている、園内研修、手作り玩具への評価は今後の励みになりました。評価者からの評価結果は改善に向けて職員と共有していきます。

今回の受審結果を受け止めて緑豊かな環境にある高田で法人理念の子どもの最善の幸福の為に保護者や地域の方たちと力を合わせ、児童の福祉を積極的に増進し地域の子育て支援の役割に努力し、質の高い保育を提供できるよう努力していきます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり